

試験科目：心理学	試験時間：60分	配点：100点
----------	----------	---------

以下の 5 題のうち 2 題を選択し、指示に従って論じなさい。

問題 1 注意に関する代表的理論として、初期選択説と後期選択説を取り上げ、

- ①それぞれの基本的考え方
- ②代表的実験（例：二重聴取課題(両耳分離聴)）との関係
- ③両理論の限界

を整理して説明しなさい。

さらに、これらの理論を統合的に理解する近年の考え方について簡潔に述べなさい。

問題 2 Baddeley & Hitch (1974) のワーキングメモリーのモデルについて、

- ①モデルを構成する各要素
- ②短期記憶モデルとの違い
- ③このモデルが認知心理学研究に与えた影響

を説明しなさい。また、このモデルに対する代表的な批判や修正点を一つ挙げ、簡潔に論じなさい。

問題 3 知覚は単なる刺激入力ではなく、トップダウン処理の影響を受けると考えられている。この考え方について説明し、

- ①代表的な実験例または錯覚現象
- ②トップダウン処理が知覚に果たす役割

を述べなさい。あわせて、この視点の限界についても触れなさい。

問題 4 認知心理学における記憶研究の代表的な実験法（自由再生・再認課題など）について、

- ①それぞれの特徴
- ②測定できる記憶過程
- ③実験結果の解釈における注意点

を説明しなさい。

問題 5 認知心理学は、神経科学、発達心理学、臨床心理学、人工知能研究などと密接に関係している。

①認知心理学がこれらの領域に提供してきた理論的貢献

②逆に他領域から受けた影響による理論変容

を整理しなさい。さらに、今後の心理学概論において、認知心理学はどのような「基盤学問」として位置づけられるべきかについて、具体例を挙げて論じなさい。

吉備国際大学大学院 心理学研究科・心理学専攻
博士（後期）課程
入学試験問題

試験科目：英語	試験時間：60 分	配点 100 点
---------	-----------	----------

このページには問題はありません

このページには問題はありません